

【科目名】7. 植物利用		
【期 別】	【区 分】	【種 別】
【期 別】 通年	【区 分】 必修	【種 別】 講義
【単位・コマ数】 2単位・15コマ	【時間数】 22.5時間	
【主任教員】 ○横田 優子 (6)		
【分担教員】 ○星川 雅子 (6) , 堀江 由美 (3)		
【授業のねらい】 園芸療法対象となる人の特性 (心理・精神・身体・社会性など) を考慮して植物を利用する知識や技術を身につける。		
【日程】	【担当教員】	【授業予定】
6/22 (土) 3-5限	横田 【予習課題あり】	<ul style="list-style-type: none"> ● 園芸療法セッションの中で、植物の美しさに触れ、魅力を感じながら、対象者が作品づくりの楽しさを味わえるような支援を行うために必要な知識・技術を学ぶ。 ● 園芸療法における創造活動の意味 栽培プログラムとの違い、エピソード記憶や手続き記憶の想起、認知機能低下予防プログラムと認知症高齢者向けプログラム ● 園芸療法における創造活動プログラムに求められること 安全性、作業の単純さ、高品質、選択の自由、ポジティブ思考、適度な所要時間等 ● 園芸療法セッションにおける植物選びのポイントを学ぶ <ul style="list-style-type: none"> ① 植物と色彩、色彩の基本的知識 (最小限) ② 寄せ植え (スライドで作り方、実例を紹介) ③ フラワーアレンジメント (実習中心：牛乳パックを使ったフラワーアレンジメント) ● 押し花 (スライド：押し花の作り方・保存法、実習：押し花コースターづくり)
7/20 (土) 1-3限	星川 【予習課題あり】	<ul style="list-style-type: none"> ● 植物 (ハーブ) の利用に関する知識と技術 (活用方法) を身につけるために学ぶ ● 園芸療法ガーデンにて下記 (1) ~ (3) の実習 <ul style="list-style-type: none"> ① ハーブの育て方、管理の仕方 (手入れと殖やし方) ② ハーブの収穫と処理・保存法 (部位別採取の仕方) ③ ハーブの魅力 (花色・香り・葉の色・形状) 等を体感
8/17 (土) 3-5限	堀江	<ul style="list-style-type: none"> ● 園芸療法に必要な色彩基礎を使い方の技術を学ぶ。 構成要素 心理的効果 配色
9/28 (土) 3-5限	横田	<ul style="list-style-type: none"> ● リース (スライド中心に実例を紹介) ● ドライフラワーや木の実の利用 (ドライフラワーの作り方、ワイヤリング) ● 葉っぱペイント (実習：葉っぱペイントのエコバッグ) ● 芝人形 ● まとめ (季節行事とプログラム、現場紹介、計画に役立つ情報収集、創造活動における留意点)
12/7 (土) 1-3限	星川	<ul style="list-style-type: none"> ● 植物の恵みを生かす技・方法について <ul style="list-style-type: none"> ① 知ることによって使いこなせるハーブの魅力紹介 <ul style="list-style-type: none"> a.花と葉を楽しむハーブ b.花の美しいハーブ c.有益な樹木ハーブ d.飲料用ハーブ e.ハーブの組合せ (相性) ● ハーブを活用するテクニックについて (実習) <ul style="list-style-type: none"> ① 香りの創作 (ポプリ/モイストポプリ/スイーツポプリ) ② 創作ポプリのオーナメント作りのテクニックについて

【予習課題】	横田	<p>① PCCS*色相環の色相の配列を覚えておく。</p> <p>② 色の3属性(色相・明度・彩度), 有彩色・無彩色の意味, 暖色・寒色・中性色について理解しておく。(※①②は提出の必要はありませんが、理解していることを前提として授業を進めますので、しっかり予習しておいて下さい。 *PCCS: 日本色研配色体系 (Practical Color Co-ordinate System)</p> <p>③ 所定(配布)の様式に従い、植物の特性を分類しておく。(提出期限: 5/23[木]必着。TAへ)(※各項目ともリストアップする植物名は最多で7個とします。)</p> <p>④ 身近な植物で押し花/押し葉を作っておく。(3~5種類程度: 色・大きさなど、異なるもので作ってみて下さい。授業では小さめの押し花/押し葉を使用してコースターを作ります。作った押し花・押し葉を持参して下さい。)</p>
	星川	<p>● レポート (A4サイズ1枚)</p> <p>有用植物(ハーブ)について、他の植物と比べた時、どのような作用、効能の違いがあるのか、五感に与える作用について、自分の考えをまとめてください。(提出期限: 6/26[水]までにTAへ)</p>
【参考図書】	横田	<ul style="list-style-type: none"> ● 「高齢者のリハビリ園芸クラフト—季節の植物でかんたん手作り作品」(いばらき園芸療法研究会 登坂ユカ監修, QOL サービス, 2009年, 2,160円) ● 「人もペットも気をつけたい—園芸有毒植物図鑑」(土橋豊著, 淡交社, 2015年, 2,484円) ● 「文部科学省後援 色彩検定公式テキスト UC級(色のユニバーサルデザイン)」(公益社団法人 色彩検定協会監修, グラフィック社, 2018年, 2,300円+税) ● 「花色レッスン&コーディネートBOOK」(中山正範・室谷優二著, 主婦の友社, 2006年, 1,365円) ● 「花育親子で楽しむ花アレンジメント」(谷川圭子著, ブティック社, 2008年, 1,200円) ● 「NHK おしゃれ工房 暮らしの押し花」(柳川昌子著, 日本放送出版協会, 2005年, 1,500円+税)
	星川	<ul style="list-style-type: none"> ● 「ハーブと精油の基本事典」(林真一郎, 池田書店, 1,900円) ● 「ハーブの育て方145種」(桐原春子, 成美堂出版, 1,300円) ● 「ハーブの花図譜(カラーチャート)」(星野登志子(絵)/桐原春子(解説), 成文堂新光社, 2,500円)
【成績評価の方法】	横田	<p>予習課題、実習作品、講義後の配色課題・レポートにより総合的に評価します。(※講義後の配色課題は6/22の講義後に、レポート課題は9/28の講義後にお知らせします。)</p>
	星川	<p>レポートの内容・発表時の発想力などを総合的に評価します。</p>
【受講生への連絡・希望】	横田	<p>単なる知識・技術の習得にとどまらず、皆さん自身が楽しむことが大切です。日頃から雑誌や植物図鑑、カタログ等をめくって、植物、色、クラフトアイデアなどについて、イメージを膨らませておいて下さい。プログラムを体験して頂くほか、現場のようすもスライドで紹介しますので、作品づくりを通して得られる気づきだけでなく、対象者の反応、場の雰囲気などからも多面的に学んで頂きたいと思っております。盛りだくさんの内容になっています。理解を深めるため、積極的な授業参加をお願いします。</p>
	星川	<p>園芸療法活動時に、学習したことが創意工夫することで役立つ事(知識・技術・相家との関係)などを紹介してみてください。その他、植物図鑑・ハーブ図鑑などを参考に、色々なイメージを膨らませて発想力や企画力を身につけられるよう、努力して下さい。</p>